２．コンピュータの技術要素

２．３　情報セキュリティ（２）（情報セキュリティの脅威（２））

問題１

悪意を持って作成されたソフトウェアの総称はどれか。

ア：　アドウェア

イ：　シェアウェア

ウ：　マルウェア

エ：　ミドルウェア

問題２

マクロウィルスに関する説明として、適切なものはどれか。

ア：　インターネットなどのネットワークを通じて、感染したコンピュータを外部から不正に遠隔操作できるようにする。

イ：　個人情報などを盗み出して、第三者に自動的に送信する。

ウ：　便利なソフトウェアに見せかけてインストールさせた後、不正な動作をする。

エ：　ワープロソフトや表計算ソフトのデータファイルに感染する。

問題３

銀行やクレジットカード会社などを装った偽のWebページを開設し、金融機関や公的機関などを装った偽の電子メールなどで、利用者を巧みに誘導して、暗証番号やクレジットカード番号などの個人情報を盗み取る行為を何と呼ぶか。

ア：　キーロガー

イ：　ゼロディ攻撃

ウ：　バッファオーバーフロー攻撃

エ：　フィッシイング

問題４

スパムメールの説明として、適切なものはどれか。

ア：　あらかじめ登録した参加者全員に配信される、同じ内容の電子メールのこと

イ：　受信者の承諾なしに無差別に送付される電子メールのこと

ウ：　受信を許諾した相手にだけ送信される電子メールのこと

エ：　電子メールの受信者が複数の相手に同一内容の電子メールの送信や転送を行い、受信者が増加し続ける電子メールのこと

問題５

ランサムウェアの説明として、適切なものはどれか。

ア：　ウィルスなどを検知して、コンピュータを脅威から守り、安全性を高めるソフトウェアの総称

イ：　感染すると勝手にファイルやデータの暗号化などを行って、正常にデータにアクセスできないようにし、元に戻すための代金を利用者に要求するソフトウェア

ウ：　キーボード入力や画面出力といった入出力機能や、ディスクやメモリの管理などコンピュータシステム全体を管理するソフトウェア

エ：　ローマ字から平仮名やカタカナへ変換したり、かなから漢字へ変換するなどコンピュータでの利用者の文字入力を補助するソフトウェア

問題６

DoS攻撃によってサーバが受ける直接的な被害はどれか。

ア：　暗号化してあるデータが解読される。

イ：　管理者用パスワードが変更される。

ウ：　コンピュータウィルスに感染する。

エ：　サービスの提供が阻害される。

問題７

クロスサイトスクリプティングに関する記述として、適切なものはどれか。

ア：　Webサイトの運営者が意図しないスクリプトを含むデータであっても、利用者のブラウザに送ってしまう脆弱性を利用する。

イ：　Webページの入力項目にOSの操作コマンドを埋め込んで、Webサ－バに送信し、サーバを不正に操作する。

ウ：　複数のWebサイトに対して、ログインIDとパスワードを同じものに設定するという利用者の修正を悪用する。

エ：　利用者を罠のあるWebサイトに誘導する目的などのために、偽の送信元IPアドレスを持ったパケットを送る。

２．コンピュータの技術要素

２．３　情報セキュリティ（２）（情報セキュリティの脅威（２））

問題１【解答：ウ】

・アドウェア

：広告を目的とした配布される、一般的には無償のソフトウェアである。

・シャアウェア

：一定期間の使用期間後に、利用を続ける場合に料金を支払う必要のあるソフトウェアである。

・マルウェア

：悪意を持って作成されたソフトウェア（プログラム）の総称である。コンピュータウィルスや、ワーム、ボット、スパイウェアなどがある。

・ミドルウェア

：OSと応用ソフトウェア（アプリケーションソフトウェア）の中間に位置づけられる。複数の応用ソフトウェアが共通して利用するOSの基本機能を提供するソフトウェアである。

問題２【解答：エ】

問題３【解答：エ】

問題４【解答：イ】

問題５【解答：イ】

問題６【解答：エ】

問題７【解答：ア】

問題８【解答：】